

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No.89
2024年
2月10日

〒680-0833 鳥取市末広温泉町211誠ビル3階(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

安保法制いけん！ 廃止を求める大山町民の会

事務局長 山下昭治(やましたしょうじ)さん



1947年7月 大山町生れ
 1971年9月 日本海汽船(株)入社、機関士として乗船
 1984年4月 海員組合執行部員
 2011年4月 両親の介護のため大山町にUターン 農業に従事
 2015年12月 「安保法制いけん！廃止を求める大山町民の会」の
 立ち上げに参加し事務局長、現在大山町在住

平和で豊かな大山町を求めて
2015年9月19日、目を覚ますと憲法違反の「安保法制関連法」が多くの国民の反対の声を押し切って強行採決されたショックなニュースが流れていた。故安倍自公政権のただならぬ凶暴性を見せつけられた。立憲主義、民主主義、平和主義が壊されていく映像を見て、大山町に住む我々も黙ってはいけぬ、奪われた大切なものを取り返さなければいけないという声が町内のあちこちであがり、強行採決から2ヶ月半後の12月5日、町内の有志30数名により、安保法制いけん！廃止を求める大山町民の会(以下「大山町民

の会」)を立ちあげ、今日につながっている。

安保法制廃止の草の根運動

「安保法制いけん！廃止を求める大山町民の会」は、「名は体を表す」にふさわしい名称にしよと啗々々々(けんけんがくがく)の議論の末の命名となった。会員は思想信条の違いを乗り越え、「安保法制廃止」の一点で賛同する人々が結集し、目的を達成するため、当時の若者たちが求めた「市民と野党は共闘」の力で国会を変え、現実的方針を定めた。

「大山町民の会」が最初に取り組んだのは、「安保法制廃止」を求める200

0万人署名だった。対話をしながら大山町民16500人中2238筆を集め、会員も30数名から140名に増えた。この声を2016年夏の参議院選挙に活かそうと「安保法制廃止」を掲げる無所属の福嶋浩彦さんを鳥取・島根合同選挙区候補として応援、5700枚のビラを手分けし全戸配布した。福嶋さんは事実上の市民と野党の統一候補となり善戦したが、一步届かなかった。全国的には、市民と野党の統一候補が議席を伸ばし、希望の光が見えてきた。

2020年の9条改憲 最大の危機に奮起

一強といわれた故安倍元首相は、くすぶり続けていた「安保法制」は憲法9条違反との批判や安保法制廃止運動をなきものにするため、2020年を自衛隊を明記した新しい憲法施行の年にしたいと表明し、憲法9条は最大の危機にさらされた。「これは許せない」と大山町民の会は全国の九条の会、市民団体と連携し、署名運動やビラの全戸配布、スタンディングアピールに必死の思いで取り組んだ。町民の中からも「まさかと思っていたが本気か」という驚きの声があがった。自

民党の「日本国憲法改正草案」を見せ説明すると、「これはダメだ」と理解が拡がった。

その後事態は一変し、2020年の故安倍元首相の突然の政権投げ出し、2021年後継指名を受けた菅元首相も安倍政治を継承したが行きつまり政権を投げ出した。2021年、よく人の話を聞く耳を持つハト派との前評判の高かった岸田首相が誕生したが、前評判とは裏腹に「故安倍元首相の国葬」「大軍拡・大増税」を国民の声は勿論、国会論議すら抜きに次々と強行し、米国や安倍派の支持を取繋ぎ、政権維持を図ろうとする極めて危険な政権になっている。

フリールームが実現した。会の主体は老若男女を対象としているが、これから先のことを考えると若者にも目を向けた活動が必要になり、高校生向けの駅頭ビラ配布、Z(ゼット)世代(10代後半)の平和学習発表会に参加し、交流の機会をつくり、将来に夢を膨らませながら取り組んでいる。

関心のあるテーマを取りあげ活動するため、会員全員を対象に年一回はアンケートを取り、結果を公表し、一つずつ実行に移している。とてもいいアイデアが詰まっている。

『映画鑑賞』が好評だ。今まで戦争の記憶を忘れない名画鑑賞に取り組み「ひまわり」「氷雪の門」「おかあさんの木」は高い評価を得た。

スタンディングアピールは毎月3日と19日、無理のないように取組み150回を重ね、町内ではすっかり有名になった。手を振ってこたえてくれる人がいるとうれしくなる。

市民と野党の共闘で政治を変えようとする活動は町民から圧倒的支持を得てきた。

今や、市民と野党の共闘を避けて政治を変えることは難しく、これが最も重要なテーマだ。それを推すマグマが町民の中に流れていることを忘れて進んでいきたい。

「強」といわれた故安倍元首相は、くすぶり続けていた「安保法制」は憲法9条違反との批判や安保法制廃止運動をなきものにするため、2020年を自衛隊を明記した新しい憲法施行の年にしたいと表明し、憲法9条は最大の危機にさらされた。「これは許せない」と大山町民の会は全国の九条の会、市民団体と連携し、署名運動やビラの全戸配布、スタンディングアピールに必死の思いで取り組んだ。町民の中からも「まさかと思っていたが本気か」という驚きの声があがった。自

民党の「日本国憲法改正草案」を見せ説明すると、「これはダメだ」と理解が拡がった。

その後事態は一変し、2020年の故安倍元首相の突然の政権投げ出し、2021年後継指名を受けた菅元首相も安倍政治を継承したが行きつまり政権を投げ出した。2021年、よく人の話を聞く耳を持つハト派との前評判の高かった岸田首相が誕生したが、前評判とは裏腹に「故安倍元首相の国葬」「大軍拡・大増税」を国民の声は勿論、国会論議すら抜きに次々と強行し、米国や安倍派の支持を取繋ぎ、政権維持を図ろうとする極めて危険な政権になっている。

フリールームが実現した。会の主体は老若男女を対象としているが、これから先のことを考えると若者にも目を向けた活動が必要になり、高校生向けの駅頭ビラ配布、Z(ゼット)世代(10代後半)の平和学習発表会に参加し、交流の機会をつくり、将来に夢を膨らませながら取り組んでいる。

関心のあるテーマを取りあげ活動するため、会員全員を対象に年一回はアンケートを取り、結果を公表し、一つずつ実行に移している。とてもいいアイデアが詰まっている。

『映画鑑賞』が好評だ。今まで戦争の記憶を忘れない名画鑑賞に取り組み「ひまわり」「氷雪の門」「おかあさんの木」は高い評価を得た。

スタンディングアピールは毎月3日と19日、無理のないように取組み150回を重ね、町内ではすっかり有名になった。手を振ってこたえてくれる人がいるとうれしくなる。

市民と野党の共闘で政治を変えようとする活動は町民から圧倒的支持を得てきた。

今や、市民と野党の共闘を避けて政治を変えることは難しく、これが最も重要なテーマだ。それを推すマグマが町民の中に流れていることを忘れて進んでいきたい。

野党共闘で政権交代を 平和をまもる全県交流集会

岸田政権の改憲策動が予断を許さないなか、平和の継続か新しい戦前にむかうのか選択が迫られています。憲法改悪反対鳥取県共同センターは、県内で平和をまもって活動を続けている運動団体に、運動を大きく広げていくにはどうすればよいのか、活動や経験を通して学び交流しよう、と、『平和をまもる全県交流集会』への参加をよびかけました。

12月20日、北栄町中央公民館大栄分会には、県内各地から20団体35名が集い、交流会では、鳥取大学名誉教授の藤田安一さんの『岸田政権と憲法をめぐる現在の情勢と今後の課題』と題する講演の後、12団体・個人の方から活動報告をうけました。

「鳥取市9条の会」は、まなび、伝え、行動で連続市民講座に取り組んでいること。「安保法制を廃止し、立憲主義を取りもどす末恒の会」は、約1800世帯にチラシを全戸配布し、地域での認知度が増していること。「安保法制を廃止し、立憲主義を取りもどす末恒の会」は、約1800世帯にチラシを全戸配布し、地域での認知度が増していること。「安保法制を廃止し、立憲主義を取りもどす末恒の会」は、約1800世帯にチラシを全戸配布し、地域での認知度が増していること。



「制いけん！廃止を求めろ大山町民の会」では、大山町内で唯一平和の声を上げている団体であり、いま力を入れているのは鳥取2区の野党共闘の実現。選挙のたびに号外を発行して統一候補の考え方を明らかにしていることやアンケートなどで地域の問題などにも取り組んでいること。「けたか9条の会」「湯梨浜9条の会」な

どもスタンディング行動に力をいれていること。「中部9条の会」は高齢化して参加者が減っているが、地域での認知度は高くなっていることなどが報告され交流を深めました。

さらに、いまこそ野党共闘が必要であり、政治を変えようの一点で、『今度こそ政権交代』とかののぼりが全県で同じ日になびくよう

な運動が必要ではないか、また、マスクに取上げてもうえるよう発信していくことも大事ではないかなどの意見がだされ、県共同センターでは街頭宣伝等で活用できるのぼりの準備をすすめているところです。

憲法改悪反対
鳥取県共同センター
事務局長 堀尾結美

鳥取県議会傍聴から見える 原発議論の状況

中国電力は、今年8月には島根原発2号機を再稼働するとしています。関係自治体は、原発再稼働の賛否と関係なく原発の様々な課題に向き合うべきと考えます。しかし、昨年9月の鳥取県議会の傍聴から明らかになったのは、安全協定に係る重要な議論の中で批判的な意見を封じる動きでした。

今回の問題は島根原発1号機の廃止措置計画の変更に関する案件ですが、鳥取県には二つの問題があります。

一つは、知事の原発議論に対する姿勢の変化です。鳥取県以外の関係自治体では、全員協議会などを開催し、議員が首長に直接意見を言う機会を設けていまし

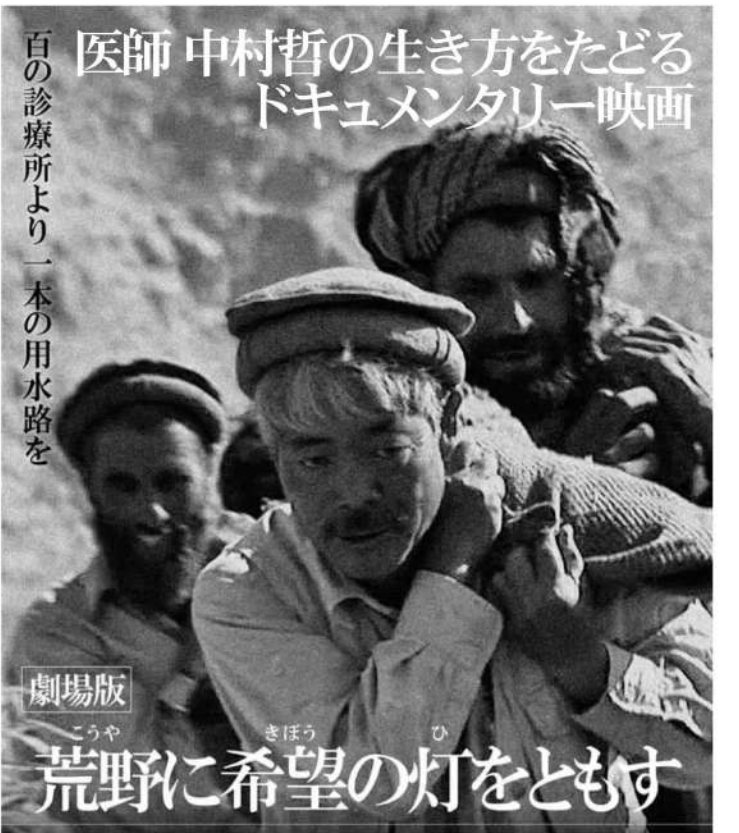
た。立地県である鳥根県議会では採決事項なので、本会議で議員が知事に意見を表明することができました。ところが、鳥取県知事は、これまで議会に求めていた全員協議会を開催せず、議員が直接知事に意見を言う機会が失われてしまいました。

もう一つは、議会の問題です。知事から全員協議会の要請がないため、地域県土警察常任委員会の負託となりましたが、委員長の横暴な采配により、中国電力の説明に対する委員外の議員による批判的な意見が封じられる結果となりました。さらに、県のとりまとめた意見については、他の委員会と同時進行で審議されたため、委員外の議員は傍聴

さえできませんでした。この経過の中で、市谷県議の質問が、議長により制止・中断される事態となりました。市谷県議は、事前に提出していた委員長報告に対する質問書を読み上げ、次が酷くなり、議長は「出した質問のとおりとは思いません」として、自民党議員の動議に同意して質問を打ち切りました。この流れは県民として全く理解できません。

議員の自由な議論を封じる鳥取県議会の状況は深刻だと思えます。今後はより多くの住民の目で厳しく監視する必要があると考えています。

えねみら・とつとり
共同代表 山中幸子



医師 中村哲の生き方をたどる
ドキュメンタリー映画
劇場版
こうや きぼう ひ
荒野に希望の灯をともし

とき：3月6日(水) 10:30~、14:00~
ところ：鳥取県立博物館 講堂
入場料1700円(障がい者1400円)

前売券販売：鳥取県立博物館
お問い合わせは 山陰映画センター(0852-25-5713)へ

鳥取県労連が新春宣伝

鳥取県労連は1月10日、募金への協力を呼びかけ鳥取駅北口で恒例の新春街頭宣伝を行いました。立ち止まって募金に協力してくれた高校生は、力してくれた高校生は、宣伝には県労連加盟団体の組合員10名が参加して春闘チラシを配布。書メ」などと言いながら、記局と加盟団体の代表が、ポケットから出した小遣今春闘での賃上げ・労働条件改善を訴えることも約30分の宣伝でしたが、に、正月早々発生し、大きな被害をもたらした能登半島地震の被災者支援が寄せられました。



能登半島地震支援募金を寄せる高校生=1月10日、鳥取駅北口